

## Contents

### 下関港新港地区（長州出島）

国際クルーズ拠点整備事業 最後となる4函のケーソン据付

### 下関港海岸（山陽地区）

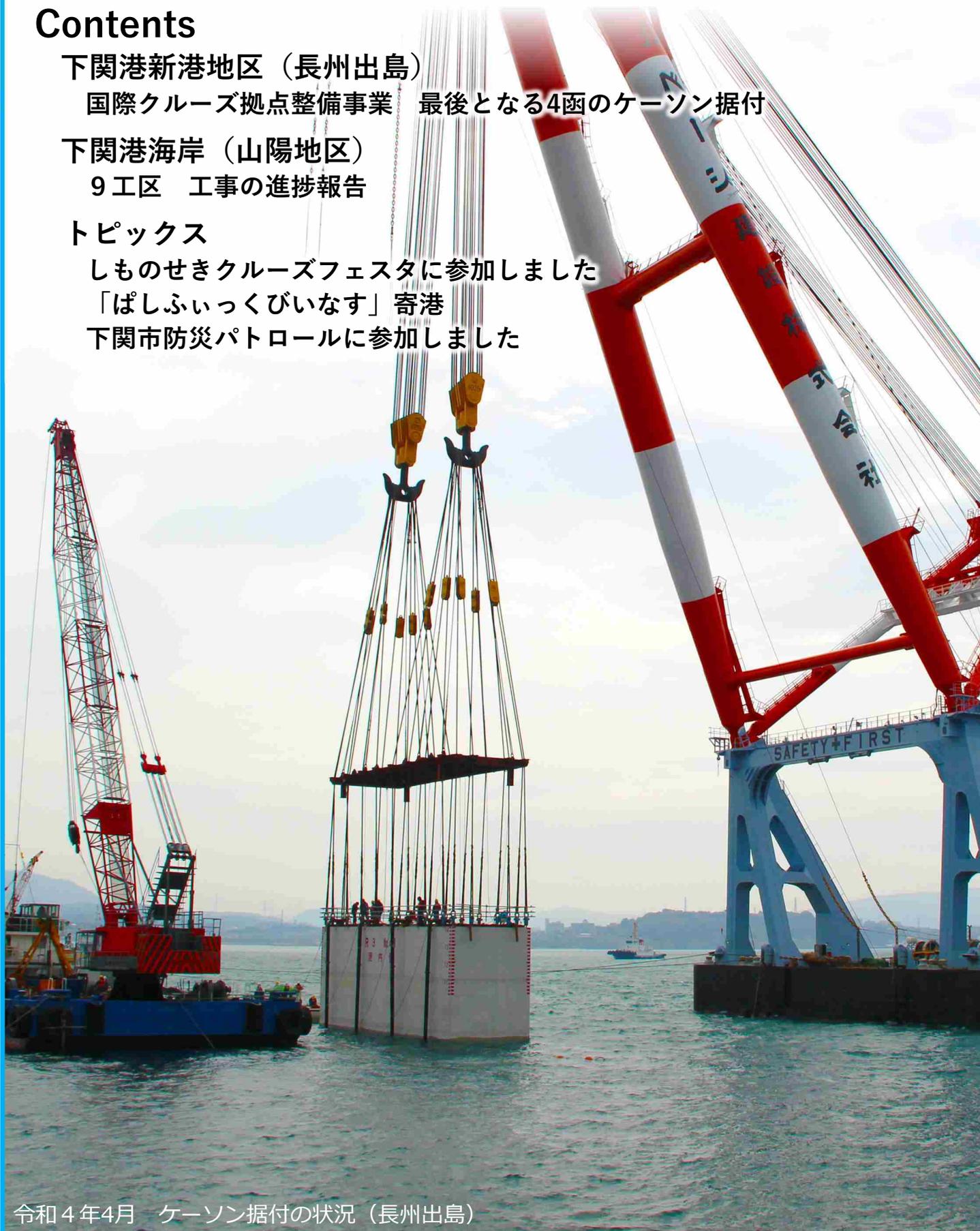
9工区 工事の進捗報告

### トピックス

しものせきクルーズフェスタに参加しました

「ぱしふいっくびいなす」寄港

下関市防災パトロールに参加しました



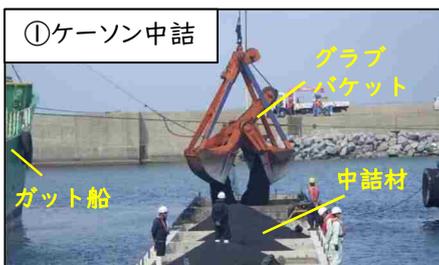
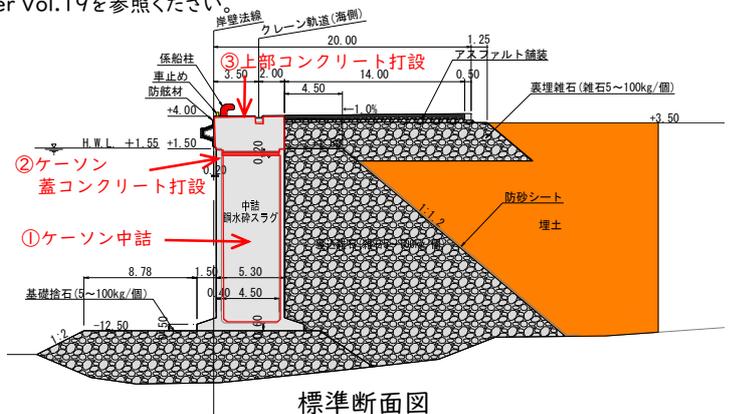
下関港湾事務所に関する主な出来事や話題をお届けします。

# 下関港新港地区（長州出島）

## 国際クルーズ拠点整備事業 最後となる4函のケーソン据付

令和4年4月8日～4月11日にかけて、下関港 新港地区にて整備中のクルーズ船専用岸壁のケーソン据付作業を行いました。

今回は、ケーソン据付後に行うケーソン中詰から上部コンクリート打設までの作業の流れについて説明します。※ケーソンの吊上げから据付までの流れについては、2021 Summer Vol.19を参照ください。



海水を注入して沈めたケーソンの中に、ガット船にて運んだ中詰材を投入し、ケーソン本体を海中にしっかりと安定させます。



中詰材を人力で平らに均し、コンクリートポンプ車にて圧送したコンクリートを打設し、蓋(厚さ:20cm)をします。



ケーソン周辺に足場(人が作業できる通路)と型枠(所定の形状にコンクリートを打ち込む枠組み)を設置し、コンクリートポンプ車にて圧送したコンクリートを打設します。

今後、裏込雑石・裏埋雑石の投入、アスファルト舗装などを行っていき、令和4年度中に国際クルーズ拠点整備事業の工事完了を目指しています。

### ～ケーソン据付現場見学会～

令和4年4月11日(月)に、昨年度に引き続き、ケーソン据付見学会を下関近隣事務所に在籍している若手職員向けに行い、スキルアップを図りました。今後もこのような見学会を開催し、若手職員の技術向上、交流を図っていきたいと思います。



### ～みなとで働く女性技術者～

ケーソン据付を行った株式会社不動テトラで働く女性技術者にインタビューを行いました。

#### Q1. なぜこの仕事に就こうと思いましたか？

自分が携わったものが完成し、形として残るということはとても誇らしいことだと思いこの仕事を選びました。

#### Q2. 実際に仕事をしてみていかがでしたか？

大きな起重機船やケーソンなどをみてスケールの大きさに驚きました。

#### Q3. 土木技術者を目指す女性に一言。

「3K」のイメージがある現場での仕事ですが、トイレ等も女性用が完備されていますし、休みもしっかり取れるので、「女性だから困った」ということはありませんでした。また、周りの方が気軽に話しかけてくださり、安心して働くことができます。2年間働いてみて、しっかりとコミュニケーションをとることが大事だと感じました。

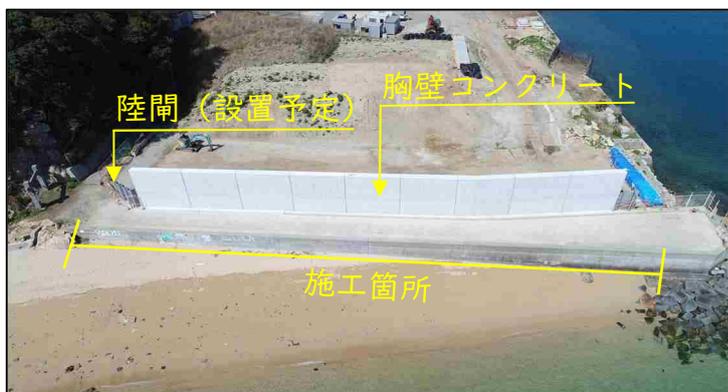
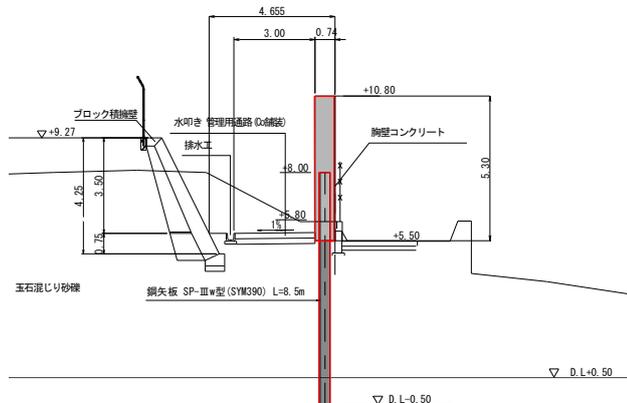
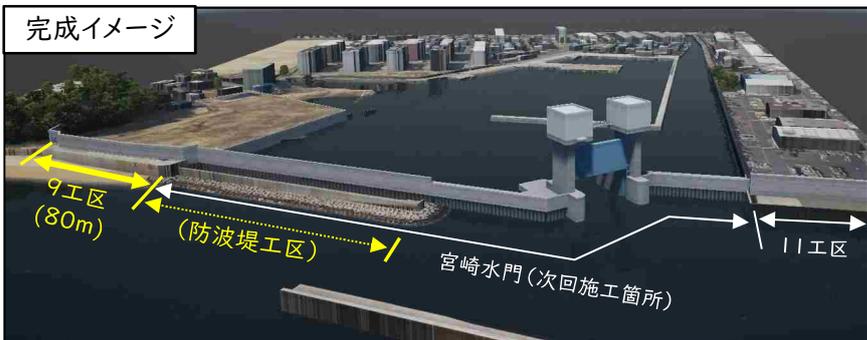


株式会社不動テトラ  
河田さん

# 下関港海岸（山陽地区）

## 9工区工事の進捗報告

9工区において昨年の8月より高潮対策の整備を進めております。豊功神社、宮崎水門側の接続部を除く胸壁の工事が完了しました。



パイプロハンマーにて鋼矢板を打設



起重機船にてコンクリートを運びコンクリートポンプ車にてコンクリートを打設



養生後、ラフテレーンクレーンを使用し、型枠を取り外す



完成した胸壁

今回のコンクリート打設に当たっては、鋼矢板と鉄筋の間が狭く密な状態であり、コンクリートを隅々まで確実に流し込むため、壁高5.3mのコンクリートを2回（1段目2.4m、2段目2.9m）に分けて打設しています。

今年度より、既設防波堤背後の護岸の整備に着手します。

### 3 トピックス

## しものせきクルーズフェスタに参加しました

令和4年3月19日～20日に下関市、下関港湾協会、山口県共催（九州地方整備局は後援）で「しものせきクルーズフェスタ2022」が開催されました。

昨年3月の「下関港クルーズセミナー2021」に引き続き、2回目の開催で今回は、「基調講演」や「パネルディスカッション」に加え、「国内外のクルーズ船社PRブース」を設置し、「クルーズクイズラリー」や「クルーズロードショー」等イベントを通じ、地域住民や関係者へクルーズの「安全性」「魅力」「楽しさ」を伝えていました。

また、会場をシーモール下関とし、イベント告知に当たっては、大丸下関店の周年記念事業開催告知に合わせて、当イベントを告知するなどの取り組みもなされ、当日は、多くの地域住民、港湾観光関係者、報道機関の方が参加しており、地元の新聞等で取り上げられました。



パネルディスカッション



クルーズクイズラリー

## 「ぱしふいっくびいなす」寄港

令和4年5月10日に東港地区あるかぼーと岸壁にクルーズ船「ぱしふいっくびいなす」が寄港しました。新型コロナウイルスの影響により、下関港にクルーズ船が寄港したのは、令和元年10月25日の「コスタ・ベネチア」以来、約2年半ぶりとなります。

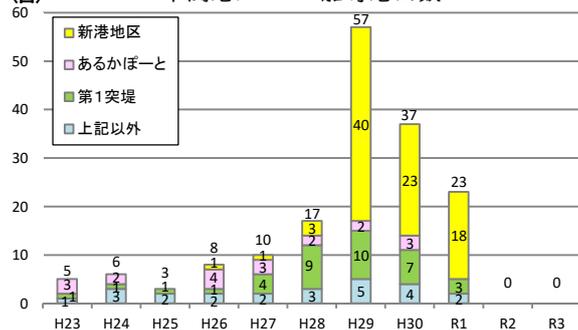
令和4年度中には新港地区にクルーズ専用岸壁が完成する予定であり、これを機会に、今後下関港へのクルーズ船寄港が戻り、ますます利用されていくことを期待しております。

### 【客船の概要】

総トン数:26,594トン  
全長:183.4m  
幅:25.0m  
客室数:230室



下関港クルーズ船寄港回数



## 下関市防災パトロールに参加しました

令和4年5月27日、当事務所が整備を進めている下関港海岸の長府外浦町～長府宮崎町において、前田市長を本部長とする令和4年度「下関市防災パトロール」が実施されました。

このパトロールは、市内の防災インフラの状況を把握し、被害の未然防止と拡大防止対策及び応急措置の適切な実施に努め、市民及び職員の防災意識の高揚を図るため、毎年実施されています。



下関港海岸外浦地区  
一般開放の歩道にて



下関港海岸外浦地区  
改良した護岸の特徴を説明



下関港海岸山陽地区  
胸壁背後から



## 国土交通省 九州地方整備局 下関港湾事務所

〒750-0066 山口県下関市東大和町2丁目29-1  
TEL(083)266-3291 FAX(083)261-1123  
HPアドレス <https://www.pa.qsr.mlit.go.jp/shimonoseki/>

「海と港の総合窓口」  
全国共通フリーダイヤル **0120-497-370**  
受付時間:9:30～12:00と13:00～17:00(土・日・祝を除く)

ご意見・ご感想をお聞かせください。

